

# むらたまち 議会だより



総合学習で紅花継承を学ぶ (村田小学校)

● 令和3年第3回定例会 … 2

● ズバリ!町政を問う【一般質問 4人】 … 5

● 常任委員会レポート … 10 他

Vol.125  
2021.8.1.

# 5,238 万円追加

令和3年第3回定例会は、6月15日から17日までの3日間にわたり開催されました。この定例会では、専決承認9件、条例の改正3件、補正予算1件、報告4件、同意1件、議発案1件が提案されました。また、一般質問は4人の議員が、町の考えや対応等について質問をしました。

まちづくり振興課 商工費

## 宮城オルレに参加 するための環境整備 150万円



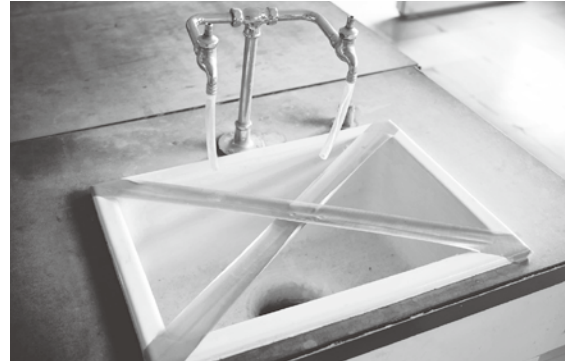
宮城オルレとは…トレッキングコースを歩きながら観光する事業。

**Q** 環境整備150万円の中身は。

**A** 町内の観光施設をめぐるコースの標識や看板、安全対策に要する経費。

教育総務課 教育費

## 第二小学校 理科室と家庭科室 排水管の補修工事 500万円



排水管の不具合で使用不可のシンク

**Q** 工事時期の予定は。

**A** 授業がない夏休みに施工する予定。

**A**

新型コロナウイルスの関係で利用を休止したため。

**Q**

老人憩いの家管理委託料191万円を減額した理由は。

**A**

小・中学校に配備済み。今後は有効活用に努める。

**Q**

小・中学生にタブレット端末の配布状況は。

**A**

残念ながら移住支援金対象者がいなかった。

**Q**

村田町移住支援金100万円の減額理由は。

**A**

今回、令和2年度の補正予算時点ですべて2億4,855万2千円である。

**Q**

現在の財政調整基金の残高は。

■承認第1号専決処分事項の報告承認について  
令和2年度村田町一般会計予算（第10号）

第3回定例会議案  
質疑応答

# 一般会計補正予算

## 目玉の事業

まちづくり振興課 総務費

### 地域おこし協力隊 活動費2名分を追加

240万円



地域おこし協力隊にかかる費用は全て国から交付されるため町の負担なく地域で活動していただけます。

**Q** 地域おこし協力隊の募集状況は。

**A** 現在4名を募集しており、面接等を行い選考中。

健康福祉課 衛生費

### 64歳以下のワクチン 接種

予約システムと職員手当

1,413万円



**Q** 今後の予約システムと接種スケジュールは。

**A** 電話に加えてインターネットでも受付し、7月中旬から接種開始予定。

**A**

業者と依頼者が取り交わした検認書を町が受領し、管理、対応する。

**Q**

これまでのし尿収集（くみ取り）については、委託制から許可制に移行するがその管理体制は十分か。

■議案第38号村田町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

**A**

時短要請分と期間延長分それぞれ16件受付し支給も完了している。

**Q**

新型コロナウイルス感染拡大防止協力金の申請状況は。

■承認第9号専決処分事項の報告承認について  
令和3年度村田町一般会計予算（第2号）

**A**

町有財産である宅地（村田字東・川畑）の売残と県営事業の小池石生線の遅れによるもの。

**Q**

土地売却収入2,926万円の減額した理由は。

# 令和3年第3回 定例会の議案と採決結果

議案名	採決結果	掲載ページ
<b>承認（専決処分）</b>		
■令和2年度村田町一般会計補正予算（第10号） 事業の精査に伴い、歳入歳出5,705万円を減額。	承認 賛成11：反対0	P2-3 下段
■令和2年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号） 国県支出金等の交付額の確定、事業精査に伴い歳入歳出4,763万円を減額。	承認 賛成11：反対0	—
■令和2年度村田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号） 事業の精査に伴い、歳入歳出105万6,000円を減額。	承認 賛成11：反対0	—
■令和2年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 保健料納入見込額・交付金等の確定、事業の精査に伴い歳入歳出270万7,000円を増額。	承認 賛成11：反対0	—
■村田町町税条例等の一部を改正する条例 地方税法等の一部が改正され、本条例の一部を改正。	承認 賛成11：反対0	—
■新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例 減免措置の適用期間を延長するため、本条例の一部を改正。	承認 賛成11：反対0	—
■新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例 減免基準の金額を見直し減免措置の適用期間を延長するため、本条例の一部を改正。	承認 賛成11：反対0	—
■村田町国民健康保険条例の一部を改正する条例 新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部が改正され、本条例の一部を改正。	承認 賛成11：反対0	—
■令和3年度村田町一般会計補正予算（第2号） 新型コロナウイルス感染拡大防止協力金を措置するため、歳入歳出4,960万円増額。	承認 賛成11：反対0	P3 下段
<b>条例（一部改正）</b>		
■村田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例 国における固定資産の価格に関する審査請求手続きでの押印が見直され、関係条文を改正。	原案可決 賛成11：反対0	—
■村田町手数料徴収条例の一部を改正する条例 デジタル社会の形成を図るための関係法律が公布されたことに伴い関係条文を改正。	原案可決 賛成11：反対0	—
■村田町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 一般廃棄物の収集、運搬、処分方法の取扱いを整理するため、関係条文を改正。	原案可決 賛成11：反対0	P3 下段
<b>補正予算</b>		
■令和3年度村田町一般会計補正予算（第3号） 事業の経費を措置するため、歳入歳出5,238万7,000円を増額。	原案可決 賛成11：反対0	P2-3 上段
<b>同意</b>		
■村田町固定資産評価員の選任に同意を求めることについて 知識及び経験を有する税務課長を固定資産評価委員に選任。	同意 賛成11：反対0	—
<b>報告</b>		
■損害賠償の額を定め和解することについての専決処分の報告について 町道管理上の事故に関する損害賠償額及び和解。	—	—
■損害額及び損害賠償の額を定め和解することについての専決処分の報告について 公用車の事故に関する損害額及び損害賠償額並びに和解。	—	—
■繰越明許費繰越計算書について 繰越額4億445万円を令和3年度に繰り越し。	—	—
■事故繰越し繰越計算書について 支出未済額6,413万5,000円、支出負担行為予定額2,759万6,000円を令和3年度に事故繰り越し。	—	—
<b>議発案</b>		
■村田町議会議規則の一部を改正する規則 男女の議員が活動しやすい環境整備。請願者の利便性の向上。その他、現状に合わせた規定に整備。	原案可決 賛成11：反対0	—

6月議会一般質問

ズバリ!

町政を問う



● **山家 大議員** (6ページ)

1. 幼稚園統合について

● **大沼 吉隆議員** (7ページ)

1. 「学校教育環境等のあり方の基本方針」の見直しについて

● **鈴木 宏議員** (8ページ)

1. 本町の消防力について

● **菊地 睦夫議員** (9ページ)

1. コロナ禍における女性の負担軽減策について

# 幼稚園統合について



山家 大議員

**問**  
幼稚園統合の  
実現いつになるか

**答**  
令和4年の実現を  
目指す

**問**  
スクールバス  
乗降場の増設を

**答**  
状況や意見を聞き  
ながら検討する

**質問**

村田幼稚園のスクールバス乗降場は各旧幼稚園周辺の1カ所ずつだが、沼辺地区も1カ所となるのか。

**教育長答弁**

意見交換会やアンケートの他、園児数や地域状況なども踏まえ検討中である。

**追質問1**

乗降場の指定条件はあるのか。

**教育総務課長答弁**

安全な乗降スペースがある所を選定している。なお、沼辺地区の園児数ではバス2台以上で運行予定なので、エリアのルートも考慮し協議していく。



親子で登園(村田幼稚園)

**追質問2**

乗降場となるであろう沼辺支所までは道幅が狭く、事故の危険性がある。

安全性や、送迎しやすい場所を聞き取り、乗降場を選定することは可能か。

**教育総務課長答弁**

説明会の中で、保護者の意向を踏まえ対応していきたい。

**問**  
半端な部分給食  
は逆に負担では

**答**  
完全給食も視野に  
検討している

**質問**

園児にも村田町学校給食センターの給食を提供することは可能か。

**教育長答弁**

部分給食(年長児に週一回程度)を計画しているが、視察等も行い、どこまで対応できるか検討している。

**追質問1**

部分給食は、小学校の給食に馴染む事を目的とした子どもに対する事業であり、子育て支援策ではないという解釈でよいか。

**教育総務課長答弁**

当初は学校給食に馴染む事を目的に年長児部分給食を計画していたが、3歳児以上かつ週一回以上の給食を求める意見も多く、現在検討中である。

**追質問2**

部分給食では弁当の日と混同し保護者には逆に負担という意見もある。完全給食であれば負担軽減、また食中毒予防にもつながるが、見解は。

**教育総務課長答弁**

保護者からの要望もあることから、完全給食を実施している幼稚園の視察を行った。完全給食も視野に入れながらどこまで提供できるか検討している。



大沼吉隆 議員

「学校教育環境等のあり方」の見直し策を問う

質問

昨年12月に示した、「学校教育環境等のあり方の基本方針」の見直し策では、幼稚園の統合を「令和4年4月に実施」することを踏



令和4年4月の幼稚園統合先予定となっている村田町立村田幼稚園

来年4月の幼稚園統合に向け、今後の工程は  
教育長 来年の園児募集時期までに経営方針、目標を決定

まえ質問する。私も沼辺地区での住民説明会に参加、数多くの意見をきかせて頂きました。町長は、住民説明会での結果をどう理解し、来年4月の統合に向け、今後、どの様な工程を踏んでいくのか見解は。

教育長答弁

保護者の意見等については、対応可能な部分を見極め検討を重ね、鋭意進める。まず、保護者の現

時点での検討を踏まえた説明会を6月末に開催。その後、新たな幼稚園の学校経営方針、目標等決定し、示していく。

質問

沼辺児童学級については、現在村田第二小学校体育館を活用し実施している。この事業の主旨を考えたとき、施設環境は必ずしも「適切な遊びや生活の場」の提供とは言い難いと思われる。今般の見直し策の中に、幼稚園統合後、沼辺幼稚園を活用するとあるが、移行時期と今後の進め方は。

町長答弁

将来的な児童数も勘案、総合的に最善な環境となるよう、出来るだけ早い時期に環境整備に取り掛かれるよう進める。

保育所の、民間移行実現への検討状況は

町長 引き続き早期の実現に向け取り組む



町内1つの公立保育所  
村田町立村田保育所(こばと園)

質問

保育所のあり方については、当初の基本方針にある民間移行の実現を踏襲し検討を継続とあるが、施設きせつの老朽化や狭隘きせつの問題を考えたとき、早期実現に向け検討すべき時期と思うが見解は。

町長答弁

保育所の民間移行、いわゆる民営化については、新型コロナウイルス感染症による経済への影響、とりわけ民間事業者の経営への影響も否定できず、新規参入へのハードルも高くなっていると思うが、引き続き早期の実現に向けて取り組んで参りたいと考えている。

## 村田町の消防力について！

町長：常備消防と消防団、行政の総力。



鈴木 宏 議員

### 質問1

消火栓の地域別の設置状況並びに防火水槽との関係について問う。

### 町長答弁

消火栓の地域別設置数は、村田地区八六基、小泉地区一九基、沼辺地区二六基、沼田地区二基、関場地区一基、薄木地区七基、足立地区二基、菅生地区一八基、合計一六一基となっており、本年度は後田地区

に一基増設予定である。

上水道施設等が被災した場合、広域的、長期的に使用不能となり消火活動に支障をきたすおそれがあることから、消防法第二十条第一項の規定に基づき消防庁で定めた消防水利の基準において「消火栓

のみに偏することのないように考慮しなければならない。」とされている。水道本館の口径が小さく消火

栓の設置ができない場所や自然水利を有効活用し水利を確保できる場所を中心に防火水槽を設置し

ており、有蓋六六基、無蓋九十基、合計百五十六基で消火栓と併せ消防水利の確保に努めている。

### 質問2

消火栓が利用できない場合の水利確保について問う。

### 町長答弁

4月22日に発生した村田字深町地内の住宅火災においては、消火栓三基、有蓋の防火水槽一基、同地内の西側を流れる中央排水路を活用し、水利を確保した。具体的には、町内の分水地点を操作し、流量を中央排水路に集中することにより対応した。この分水地点の操作は、消防担当課と水路担当課における事前協議により、出火報告後、直ちに

た水路に流量を集中する仕組みとなっている。

### 追質問1

村田町の「消防水利の充足率」は。

### 総務課長答弁

村田町の消防水利の充足率は93・5%で、若干の不足。

不足と見込まれる個所は九カ所で、大字村田、大字沼辺の密集地である。

### 追質問2

本町の消防力(人員・水利・施設)の水準をどこまでと考えているか。

### 総務課長答弁

数字的には答えられませんが、町民の安心・安全のために、可能な限り消防施設の整備に努める。



有蓋防火水槽



消火栓



消防車(村田町消防団中央防災センター)



分岐水路





菊地睦夫議員

## コロナ禍における女性の負担軽減策について

「小さな声を聴く力」をモットーとして地域のお困り事や生活相談を通して皆様の声を受け止めて、課題解消に取り組んできました。

今年3月の参院予算委員会の中で、ある議員は「女性の健康が脅かされている」との民間団体から寄せられた声を取り上げ、国会で初めて「生理の貧困」対策に迫り、その後、国が、孤独・孤立対策に取組むNPOなどへの財政支援として「生理用品の無料配布を補助対象として認める」と発表しました。「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、また、利用できない、利用しにくい環境にある事を指し、発展途上国や先進国においても問題になっています。

この問題は日本でも無関係ではなく、先日、任意団体である「#みんなの生理」が行ったオンラインアンケート調査によると、5

人に1人の若者が金銭的な理由で生理用品を買うのに苦労した、他の物で代用している等の結果が出ています。また、貧困で購入できないだけでなく、ネグレストにより親等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとの指摘もあります。このことを踏まえ県内の各自治体でも小学生・中学生・高校生への生理用品の無料配布や、防災備蓄品目として生理用品の追加・増量。生活困窮者への相談窓口を強化するなど、支援の動きが始まっています。

村田町におきましても、小学校・中学校・高校生への生理用品の無料提供、声を上げられない人のための配慮、女性を守る体制の強化、相談体制と居場所の確保、防災必需品としての備蓄と活用等、一日も早く、このような女性たちの負担軽減に取り組んでいただきたいと思えます。

### 質問

本町での生理用品の相談支援体制、災害時の備蓄状況はどのように検討されているのか町長の考えを伺います。

### 町長答弁

「生理の貧困」の問題については、町内の女性の貧困問題の実態を把握させていただいた上で、総合的な支援内容について検

討してまいります。また、町内の小中学校では、学校生活上生理用品が必要となった時は、児童生徒に対して保健室で配布を行うっております。

災害時の備蓄品については、現在、生理用品の備蓄はしていないが今後、災害時備蓄品として追加していきたいと考えています。



ミモザ

# 常任委員会 レポート

## 町税の賦課・徴収について(5月21日実施)

### 総務常任委員会

○町税賦課状況(令和3年3月末現在)

令和2年度における町税の賦課状況は、前年度比で町税の賦課額を表す調定額の総額が、1・8%減の1,344,887千円、金額にして25,045千円の減となった。

各税目別の現年度課税分の状況であるが、個人町民税は、景気低迷による影響から、調定額は2・7%減の380,913千円となり、法人町民税については、税率引き下げの影響に伴い、調定額は18・5%減の85,422千円となった。

固定資産税は、土地において地価の下落傾向が続いていることから調定額0・1%減の680,301千円、軽自動車税は、税制改正による税率引き上げなどの影響により、調定額は1・7%増の41,286千円となった。

町たばこ税は、健康志向の高まりを背景に販売本数が減少したことにより、調定額4・1%減の91,678千円となっている。

### ～税金などの納め忘れはありませんか?～

税金や各種使用料は、町民の皆さんの福祉や教育など、町民生活に必要なさまざまな活動に使われるたいへん貴重な財源です。期限までお納めください。

うっかり忘れてしまったがために、延滞金が発生したり、督促状が届いたり、差し押さえなどの滞納処分になってしまつ可能性があります。

うっかり納め忘れにならないようするため、  
○座振替納付が便利です。

○座振替のお問い合わせは、税務課へ!  
(0224-83-6403)



### ○委員会所見

町税は、住民サービス維持のため安定的な確保を図るために必要な地方財源である。税負担の公平性、自主財源の安定確保及び収入未済額の縮減に向け収納率の向上と滞納縮減に引き続き取り組みこと。人口減少や社会経済情勢の変化などを踏まえ、税収の先細りが懸念されるとともに老朽化に伴うインフラ整備等に多額の財政投資が見込まれることから新たな財源確保策の導入も視野にあらゆる手立てについて検討を図らるたい。

## 上下水道事業について(5月17日実施)

### 産業建設常任委員会

村田町の水道事業は、大正12年12月に創設事業の認可を受け、ただちに工事に着手し、昭和2年5月に竣工と共に給水を開始した。

本町では、相山浄水場内施設の老朽化が著しいことや年々厳しくなる水質基準への対応及び施設投資の効率性を考慮し、平成18年度から全て仙南・仙塩広域水道用水供給事業からの受水で賄っている。

また、地形等の地理的要因により建設改良費やランニングコストが割高となり給水原価が著しく高額となっている。

一方、給水に係る費用については、各施設の老朽化による修繕費等の維持管理費が年々増加する見込みであり、今後とも厳しい経営が予想される。

給水人口の伸びが見込めない現状と、経済情勢の悪化による産業の生産基盤の不安定などにより、当初計画した水需要量に差異が生じており、収益が見込めない状況となっている。

下水道事業は、阿武隈川下流域下水道事業(構成市町・仙台市・名取市・岩沼市・角田市・白石市・柴田町・大河原町・村田町・蔵王町・丸森町・亘理町の5市6町)の関連公共下水道として昭和51年度に基本計画を策定し、翌52年度より事業に着手して整備を図り、平成元年度より供用を開始している。

### ○委員会所見

上下水道事業は昭和2年5月に給水を開始してきたが、給水人口の減少、各施設の老朽化により維持管理費の増加見込みが予想される。また、平成元年度より開始した下水道事業は整備区域内人口の減少もあり、整備率は77・4%と伸び悩み気味である。

総じて見れば、住民が求めているのは安全で安心な水であり、農業集落排水事業も含めて安定した事業経営を継続的に取り組んでいくことを求む。

# 教育民生常任委員会

## ◇児童福祉事業

- ・ 幼児教育・保育の無償化
- ・ 子ども医療費助成
- ・ すこやか出生祝金
- ※支給条例の一部改正

(表1参照)

- ・ 児童手当
- ・ 子育て支援ゴミ袋支給
- ・ 育児スタターキット支給

## ◇児童福祉施設・母子父子家庭・子育て支援センター事業等

- ・ 児童遊園の維持管理
- ・ 母子父子家庭医療女性
- ・ 留守家庭児童学級
- ・ 一時預かり
- ・ 子育てサポーター、サークル等
- ・ 児童相談 など

## ◇コロナ関連単年度事業

- ・ 新生児臨時給付金
- ・ 図書カード配布
- ・ 保育所の感染予防対策

## ◇今後の方針

老朽化施設の早急な対応、保育所の民間移行、児童館活動事業の充実などに取り組んでいく。

## ○委員会所見

子育て支援は諸制度が完備され近隣市町村と比較しても遜色ないレベルであり評価できる。引き続き定住促進も意識した施策をお願いしたい。

一方で児童遊園施設において維持管理に疑問の声が上がっている箇所がある。所管課として対策を検討いただければと思う。また、今後の方針で保育所の民間移行とあるが具体的な方向性が見えてこない。幼保一体化も合わせて精査し、具体的な実施時期など一歩踏み込んだ議論を進めていただきたい。

表1. すこやか出生祝金改正により追加される新たな支援金

	第1子	第2子	第3子以降
満1歳祝金	5万円	5万円	10万円
小学校入学祝金	10万円	10万円	20万円
小学校入学支援金	5万円	5万円	10万円

令和4年4月2日生まれから適用

## コロナ対策補助金を最大限に活用

国の新型コロナウイルス対策の地方創生臨時交付金を有効活用し、コロナ対策の事業に取り組みました。その一部を紹介します。

### 第3弾クーポン券を配布

新型コロナウイルスの影響により打撃を被った地域経済の活性化と住民支援を目的に、全世帯にクーポン券を配布しました。



### 手打ちそば処・リニューアル

「民話の里」内の物産館を、村田産そばの観光資源化を目指しPR拠点として改修しました。



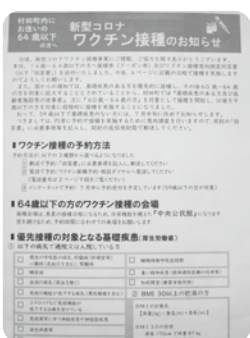
### 笑顔集う広場へ遊具増設

野外の施設利用も蜜を回避しコロナ感染拡大を抑制するため、塩内公園内に遊具を増設しました。



### 64歳以下の接種開始

64歳以下の新型コロナワクチン接種計画を決定。7月中旬から1回目の接種を始め、9月下旬までに2回目の接種を完了する予定です。



# わたしの思い

## 六三歳の趣味と交流

秋保 光男さん(姥ヶ懐)

まだ、現役での仕事を継続中の私の趣味は、農林水産業。  
農は農業。米栽培と自家用の野菜栽培。  
林は林業。冬場に山の木を伐り炭焼。  
水産は釣り。農閑期を利用した石巻・女川方面での船釣り。  
平日は仕事、週末は趣味と忙しく身体を動かしております。  
これらは、地元の三十〜四十歳代の青年たちと共通の趣味であり交流の場でもあります。



趣味の炭焼き

## 次の定例会は 9月7日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より  
<http://www.town.murata.miyagi.jp/>  
コンテンツ「議会」から「議会中継」へ  
アクセスしてください。

本会議の日程については、  
町ホームページの「本会議開催予定表」で  
詳しくお知らせしています。

## 村田町議会公式Facebook はじめました

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

# 暑中お見舞い 申し上げます



村田町議会議員一同

議員は、公職選挙法の規定により年賀状、季節の挨拶状などが規制されております。ご理解をお願いします。

## 編集後記

限られた字数の中で意を尽くすには、自分の命を削るような真剣さ、ひたむきさが欠かせない。その志こそ、希望の言葉を紡ぐ源泉だ。「文は人なり」である。一本の短い記事であっても、一枚の小さな写真であっても、誰かの魂を触発し、生きる勇気を鼓舞する力になる。とある新聞に書いてありました。私たち議会広報編集特別委員会もこの記事を念頭において今後も、町民の皆様には議会の内容をわかりやすく興味を持って読んでいただける議会だよりの編集に取り組んでまいります。

議会広報編集特別委員会

委員長 菊地 睦夫

発行・編集責任者  
議長 遠藤 実  
議会広報編集特別委員会  
委員長 菊地 睦夫  
副委員長 大沼 吉 隆  
委員 山家 大宏  
委員 鈴木 正 信  
委員 鈴木 登 明  
委員 村上 敏 初  
委員 吉野 美 博  
委員 太田 保 博  
委員 鈴木